

# 核兵器禁止条約一刻も早く批准を！ -尾道で平和行進、平谷市長も激励-



平谷市長の平和行進参加者へのメッセージ

原水爆禁止2020年国民平和行進にご参加の皆様、深く敬意を表します。

広島・長崎は原子爆弾が投下されてから、今年で75年目の夏を迎えます。この原爆により30数万人の方がなくなられ、今も後遺障害などにより多くの方が苦しんでおられます。これほど長い間、人を肉体的にも精神的にも苦しめる核兵器は、あってはならない兵器です。

5年に1度の核拡散防止条約(NPT)再検討会議は、本年4月に国連本部で開催が予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて延期され、来年1月の開催に向けて調整中とされています。

新型コロナウイルスの全世界的感染拡大は、改めて国際協力の重要性を再認識する機会となりました。国や思想の垣根を取り払い、人類全体が核兵器の廃絶に取り組んでいかなければなりません。

本市では、昭和60年に「非核平和都市尾道宣言」を行い、さまざまな活動を通じて、広く市民の皆様へ平和の尊さを訴えてまいりました。

これからも核兵器のない平和な社会の実現に向け、なお一層の努力を続けてまいります。

行動に参加されている皆様方には (以下略します)



支援金申請を呼びかける  
民主商工会のチラシ

国の事業継続支援金を補完する市独自の事業継続支援金(20万円・10万円)は7月26日調査でまだ72件の申請受付にとどまっております。当初想定は1,200件には遠く及んでいません。

国民健康保険料が20世帯、後期高齢者医療保険が1人、介護保険が6人、ひとり暮らしの高齢者など、国の財政支援が求められます。

## 市独自の支援金申請は現在72件



高原市民生活部長が代読

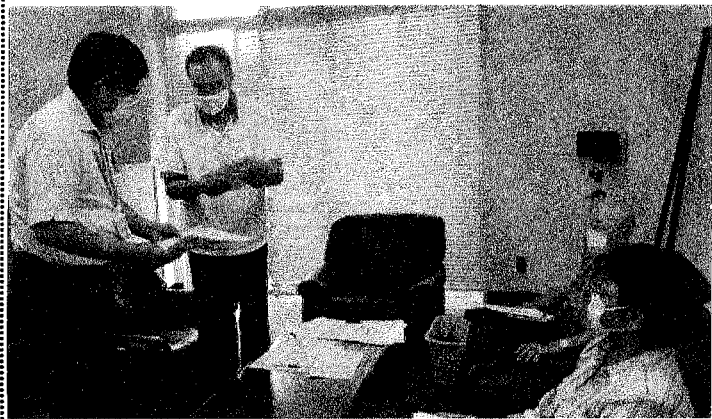
参加者は平谷市長の激励を受け、市役所前を出発、商店街、駅前を通り、新浜まで行進し、前日27日に福山から引き継いだバトンを三原につなぎました。核兵器禁止条約発効まであと10か国となり、日本政府に一日も早く批准させようという決意を固めました。沿道から「ご苦労様」と温かい激励が寄せられました。

7月28日午前9時45分から、尾道市役所前で、平和行進の出発式が開かれ、尾道原水協の住田会長、平谷市長の代理で高原市民生活部長、通し行進者の村上あつこさんがあいさつしました。共産党尾道市議団から岡野長寿、三浦とおるが参加しました。



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)

## 教科書採択会議の公開を 署名を届け、教育委員会と懇談



尾道の教科書を考える市民の会は、7月27日(月)午後1時30分より、尾道教育会館にて、三浦市議も同席のもと2021年度使用中の学校教科書に係る申し入れと懇談を行いました。

尾道市民191人の署名を渡し、民採択の教科書を採択していただくよう要望するのと共に、問題となつていく教育委員会による教科書採択会議の公開を強く求めました。広島県内の自治体の中でほとんどの自治体が教科書採択会議を公開していること、市民の声として申し入れを行いました。担当課長が「教育委員の方々には伝えていく」と答えたのに対して、「具体的に県内の他の自治体でどの様な経緯で公開に踏み切ったか研究をして、事例を教育委員に伝えていくべきである」と強く要求して「今年度こそ教科書採択会議を公開すること」を市民の声として申し入れを行いました。